

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

- 新型コロナウイルス感染症検査状況(2020年)続報 -

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、サーズコロナウイルス2(SARS-CoV-2)による急性呼吸器疾患です。2019年12月に初めて中国で報告され、その後世界中に流行が拡大し、日本では2020年2月に指定感染症に位置付けられました。埼玉県衛生研究所においても、2020年1月から行政検査としてCOVID-19のPCR検査を行っています。今回は当所における12月31日までの期間のCOVID-19の検査状況について報告します。

COVID-19(疑い及び接触者含む)25,796症例の検体が搬入されました(表1)。検査症例数は2月下旬から増えはじめ、6月に一旦減少しましたが7月上旬から再び増加し、12月に最多の5,227症例となりました。

週ごとの陽性率は、検査症例数の第一の波(1月~5月)では、3月下旬から高くなり4月6日~19日にかけて20%を超えましたが、5月は0%~4%まで低下しました。第二の波(6月~9月)では8月10日~16日の週をピークとして2%~11%の間で推移しました。10月以降の第三の波では、10月中旬から徐々に陽性率が上昇し、12月21日~27日の週には再び10%を超えました(図1)。

表1 COVID-19月別検査状況(2020年)

検体搬入月	検査症例数	SARS-CoV-2陽性症例数	陽性率(%)
1月	2	0	0
2月	123	2	1.6
3月	782	59	7.5
4月	2,275	316	13.9
5月	1,687	42	2.5
6月	673	17	2.5
7月	2,137	82	3.8
8月	3,203	150	4.7
9月	2,004	48	2.4
10月	2,774	132	4.8
11月	4,909	227	4.6
12月	5,227	407	7.8
合計	25,796	1,482	5.7

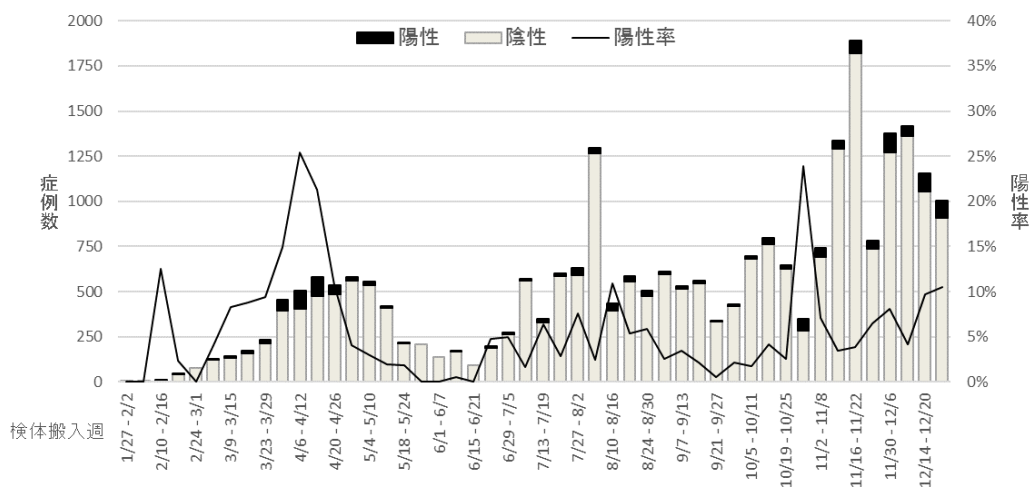


図1 COVID-19 週別検査状況

年代別の検査症例数は、10代の4,335症例が最も多く、20代及び40代が約3,000症例でした。また、10歳未満、30代、50代、80代の各年代が2,300症例から2,600症例、60代及び70代が約2,000症例、90歳以上では約1,100症例でした（表2）。

年代別の陽性症例の割合は、1月～5月では50代20.0%、40代18.4%、70代13.1%の順に高く、6～9月では20代21.9%、50代14.5%、40代14.1%で20代の占める割合が高くなりました。10～12月では20代及び40代が13.6%、50代が11.7%でした。また、10代や70代以上の年代の割合が増え、幅広い年代で陽性症例が確認されています（図2）。

表2 COVID-19 検査症例の年代別内訳

検査症例数	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
1-12月	2,358	4,335	3,085	2,552	2,908	2,675	1,984	2,080	2,309	1,083	25,369
1-5月	151	139	620	652	675	596	524	646	611	202	4,816
6-9月	770	1,109	1,086	866	887	867	618	619	601	287	7,710
10-12月	1,437	3,087	1,379	1,034	1,346	1,212	842	815	1,097	594	12,843

年代不明症例は除く

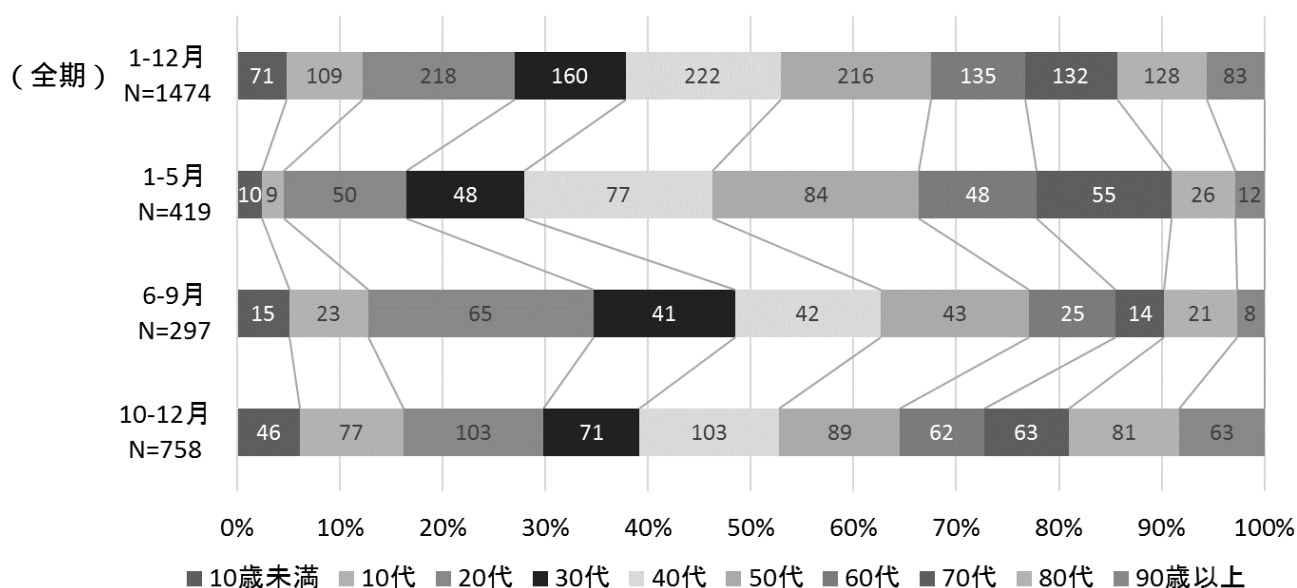


図2 COVID-19 陽性症例の年代別割合

なお、埼玉県では新型コロナウイルス感染症総合サイト（http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/covid19_sougousite.html）で情報提供を行っておりますのでご参照ください。